

提出 順番	No. 1	令和 3 年 11 月 24 日 午前・午後 9 時 36 分受領
----------	----------	--------------------------------------

令和 3 年 11 月 24 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 内山 美穂子 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 地域おこし協力隊について	<p>昨年来のコロナ禍でテレワークの普及や2拠点居住など柔軟な働き方や暮らし方をする人が増え、価値観や生活様式の多様化が進みました。地方移住への関心が高まるとともに国も推進に向けた支援策を強化しています。地域外の多様な人材を積極的に誘致することは地方の活性化に大きく貢献するものであり、幕別町にとっても必要不可欠であると考えます。</p> <p>こうした地方移住推進策の一つに地域おこし協力隊制度があります。全国では令和2年度に 5,464 人の隊員が様々な分野で活動し、道内では 699 人と前年度より 44 人増加しています。また、令和2年度末で任期終了した隊員 6,525 人のうち約 6 割が定住し、このうち約 4 割が就業、約 4 割が起業に結び付いており、隊員の起業率は高い水準にあります。また、国は令和6年度に 8,000 人に増やす目標を掲げています。</p> <p>幕別町も令和元年5月から任用を始め、現在3人が観光振興などに取り組んでいます。隊員が地域に根付いて力を発揮できるよう、また活力あるまちづくりに向けて取組を強化する必要があると考えることから、以下について伺います。</p> <p>① 現状における隊員の任用・勤務条件、活動内容と支援体制について。また、課題は。</p>

	<p>② 希望者に幕別町を選択されやすく起業しやすい環境づくりを。</p> <p>③ 町内の課題や既存事業者の地域ニーズを掘り起こし、企業研修型や起業型など新たな分野での導入を。</p> <p><b>2 市街地活性化について</b></p> <p>人口減少や高齢化の進行により、幕別町は本町、札内、忠類地区それぞれの中心市街地で空き店舗が顕在する状況が長く続き、にぎわいの喪失やまちの空洞化、地域づくりの担い手不足など様々な課題に直面しています。</p> <p>こうした中、本町市街地で使われていない倉庫が民主導でリニューアルし、マ克拉ショーケースとして再生されました。地域資源貢献の新たなプラットフォームとして使い勝手の良い空間に仕上げられ、地域のイベントや作品展などに利用され認知度が上がってきています。</p> <p>町内外の新しい人の流れが創出され、同市街地では新たに起業する人の動きもあり、人が人を呼ぶ流れが市街地活性化へ好循環を生んでいくものと期待しています。この流れを止めないよう、町も関係団体と連携しオール幕別で魅力ある地域づくりにつなげていく必要があると考えることから、以下について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 町内で起業する人への支援は。</li> <li>② 空き店舗対策事業の対象要件の拡充を。</li> <li>③ 高齢化や後継者難を背景にした新たな廃業が懸念されるが、担い手を育成する「継業」について。</li> <li>④ 市街地でのサテライトオフィスの誘致やコワーキングスペースの整備の考えは。</li> </ul>
--	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。